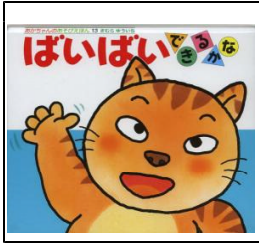


「ばいばいできるかな」きむらゆういち



きむらゆういちさんが手がける「あかちゃんのおそびえほん」シリーズの新作。「ばいばい」は明日もいっしょに遊ぼうねというお約束。作品を通して友だちとのコミュニケーション作りにつながると思います。このシリーズにはゆかいなしかけがあり、親子で楽しく遊べるおすすめの1冊です。

* あかちゃんのおそびえほん13 * 偕成社 * B5 * 2013年4月

「だれのなきごえかな？」ディック・ブルーナ



さまざまな動物の鳴き声が登場する作品。ディック・ブルーナが描く絵はすべて線と色がはっきりしています。まだ形や色を認識するのが難しい子どもに、少しずつ絵本に触れるきっかけを与えてくれます。読んであげるときには、それぞれの動物にあわせて声を変えると子どもにわかりやすいかも…。

* 福音館書店 * B5 * 2013年4月

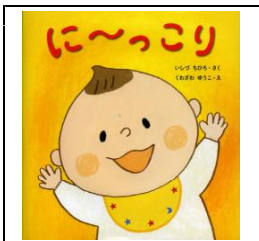
「ガッタンポツポー」冬野いちこ



小さな子どもでも安心して遊べるしかけ絵本です。小さなサイながらじょうぶな作りなので、子どもが自分で絵本を持って楽しくページをめくれます。文は擬音とくりかえし、やさしい言葉で綴られています。子どもが大好きないちごや動物、花が登場し、ページをめくるたびに楽しい気分してくれます。

* ひさかたチャイルド * A5 * 2013年4月

「に〜っこり」いしづちひろ・くわざわゆうこ



表紙に赤ちゃんのかわいい笑顔が描かれ、思わず絵本に手を伸ばしたくなるかも…。この作品には赤ちゃんが笑顔になる場面がいっぱい。おいしいいちごを食べたり、くまのぬいぐるみを抱いたり、ボールをじょうずにキャッチして「に〜っこり」など。最後はお母さんの愛情に包まれ「に〜っこり」で決まり！

* はじめてであうえほんシリーズ * くもん出版 * B5 * 2013年2月

「ママっていつて！」松岡節・綾幸子



しまうまの赤ちゃんが“ママ”という言葉が言えるようになるまでを描いたユニークなお話。「マ」のつく言葉とかわいい絵が次々に登場し、明るく楽しい気持ちにさせてくれます。マカロニグラタン、まんじゅう、こまなど、「ママ」にたどり着いたときの子どもの気持ちが伝わってきます。

* ひかりのくに * A5 * 2013年5月